〔新規〕島原市教育の基盤及び教育方針の掲示事業

事業目的

本市の教育基盤である**「生命・きずな・感謝の心」**を各小中学校の玄関に、また、**教育方針**を各教室に掲示し、島原市が目指す教育像を教員、児童・生徒、保護者に広め、意識向上を図ります。

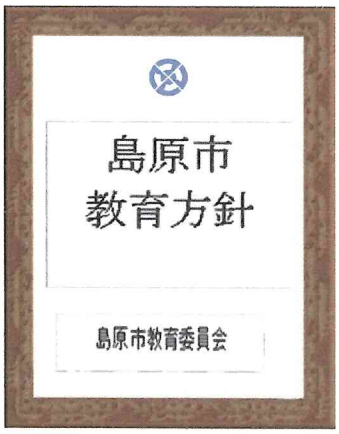
事業概要

下記の額縁を各小・中学校の玄関及び、各教室に掲示

（玄関）



（各教室）



≪積算≫

玄関：「生命・きずな・感謝の心」			
項目	学校数	単価	計
額縁	15	939.6円	14,094円
印刷	15	200円	3,000円
計（税込）			17,094円

教室：「教育方針」			
項目	教室数	単価	計
額縁	156	840円	131,040円
印刷	156	200円	31,200円
計（税込）			162,240円

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）	全体事業費
	１８０千円　(180)	１８０千円

年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	—	上記事業を実施	—

教育総務課

〔新規〕小中学校学力向上対策事業

事業目的

学力向上への取組について成果を上げている先進地を視察し、本市の施策を見直し、改善を図ります。また、児童生徒の学力の新たな検証軸として、本市独自の学力調査を実施することにより、学力の定着状況を把握・分析し、各学校における取組の充実・改善に役立てます。

事業概要

学力向上のため３つの事業を実施

学力の定着状況の把握・指導の改善

① 本市独自の学力テストの実施

・新たな検証軸として学力テストを設ける。
　対象：小学４年生、中学１年生
　教科：国語、算数（数学）
　実施期間：平成２６年度１学期
　方法：調査問題及び集計等は、外部委託をする。

指導力の向上

② 学力向上に向けた取組の先進地への視察

・秋田県へ２名（指導主事、教員）
・福島県へ３名（指導主事、校長会代表、教員）

③ 研究会等への参加

教育委員会指導主事の質を高め、幅広い指導が可能となるようにする。

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	１，８９２千円　（556）		―
年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	―	① 本市独自の学力テストの実施 ② 先進地視察 ③ 指導主事の研修	引き続き実施予定

【財源内訳】　教育文化振興基金　1,336千円
　　一般財源　556千円

学校教育課

外国語指導助手招致事業

事業目的

児童生徒が外国語指導助手の協力を得て、言語や文化に対する理解を深めることと、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的としており、グローバル化した社会で「生き抜く力」を育成します。

事業概要

《配置人数》　４名（全小・中学校対象）

《ベース校》　一中、二中、三会中、有明中

《活動内容》

①授業中における支援

・教科担任のアシスタントとして授業をサポートする。

・授業中に児童・生徒に対して、積極的に働き掛け実践力を身に付けさせる。

②授業内容の計画作成における連携

・教科担任からの要望により、指導案を共に作成し、授業での役割分担を明確にする。

③教材研究

・児童・生徒の実態に即した教材を作成する。

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	１８，０７６千円　(533)		—
年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	２４年度から事業開始 （１名配置）	上記事業を実施	引き続き実施予定

※財源としてふるさとづくり基金繰入金を充当予定

学校教育課

教育費　267ページ

中学生海外訪問交流事業

事業目的

中学３年生を対象とし、夏季休業中にシンガポール（平成６～２１年度までは韓国、平成２２～２４年度は中国）を訪問します。現地の教育施設等の見学や中学生との交流活動を通して、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うとともに、将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指します。

訪問交流の様子



事業概要

事業主体　　島原市
交流国　　シンガポール
対象学年　　市内中学校３年生
人　　数　　１０名
交流日数　　４泊５日
活動内容　　①現地の中学校における交流会
・交流内容　歓迎レセプション・校内見学
１対１の交流
（英語での自己紹介及び島原紹介）、
②各所旧跡や教育文化施設の視察及び見学

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）	全体事業費
	４，６８９千円　(2,361)	―

年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	○平成6年度～21年度 韓国と相互訪問交流 ○平成22年度～24年度 中国への訪問交流 ○平成25年度 シンガポールへの訪問交流現地中学生との交流、日本大使館や現地日本企業への訪問研修	上記事業を実施	引き続き実施予定

学校教育課

不登校児童生徒適応指導事業

事業目的

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てます。

事業概要

《事業主体》　島原市

《事業概要》　名称　適応指導教室「ひまわり教室」

開 室 日　毎週月曜日から金曜日までの週５日

開室時間　午前９時３０分～午後３時３０分

活動内容　①児童生徒に対する支援

・集団適応活動

・生活リズム及び学習習慣定着のための活動

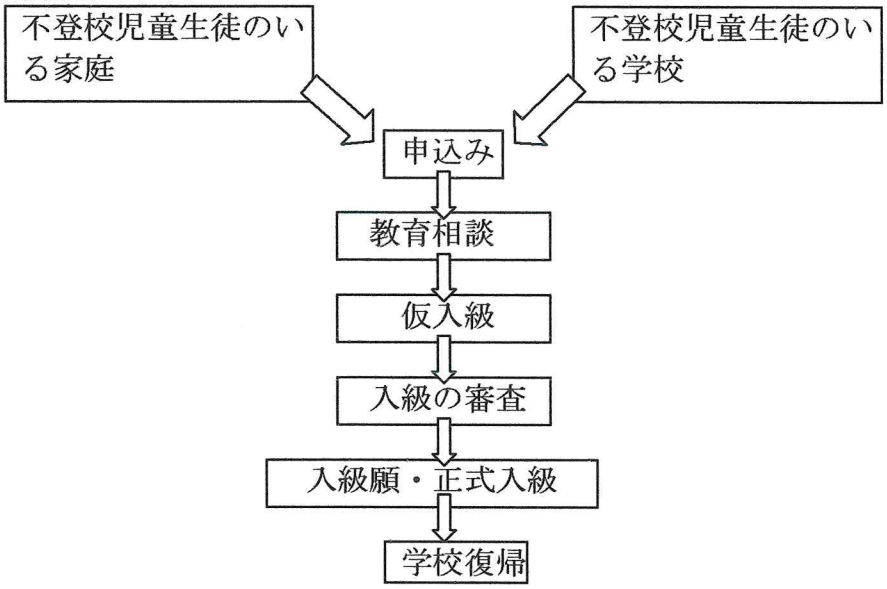
②保護者への支援

・個別の教育相談

③在籍校への支援

・通級児童生徒の対応について学校との連携

《事業の流れ》



事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）	全体事業費
	２，３２０千円　(2,320)	―

年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	相談員２名を配置	相談員２名を配置	引き続き実施予定

学校教育課

学校司書配置事業

事業目的

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにするなど、人生をより豊かに生きていくうえで欠くことができません。

そこで、児童・生徒や教職員に適切な情報提供を行うことができる「学校司書」を配置することで、学校図書館環境の整備を図り、児童・生徒の読書活動を推進します。

事業概要

《事業概要》　勤　　務　週３日　　（年間）１２３日程度
勤務時間　１日６時間
活動内容　<u>①　経営的活動</u>
・入室者数、貸出冊数、学習利用等の統計
・図書ボランティアとの連携
<u>②　技術的活動</u>
・図書館資料の収集、分類、展示、修理・製本、点検及び廃棄、書架の管理
<u>③　奉仕的活動</u>
・図書の貸出やレファレンスサービス、読みかたり、お話し会の実施
・図書相談、学習資料の提供、広報活動
<u>④　教育的活動</u>
・図書委員や図書館使用学級への援助
・司書教諭や担任との連携

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	９，０５２千円　(9,052)		―
年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	司書配置年度（各校１名） 小学校：平成２１年度～ 中学校：平成２２年度～ 【平均貸出冊数】 小　中 H20年　73.3冊　3.2冊 H21年　76.9冊　2.5冊 H22年　75.3冊　5.5冊 H23年　87.0冊　5.4冊 H24年　98.1冊　7.9冊	各小・中学校に１名配置	各小・中学校に１名配置

学校教育課

特別支援教育支援員事業

事業目的

小・中学校において教育上特別の支援が必要とする児童生徒に対し、日常生活動作の介助や発達障害の児童生徒に対し学習活動上のサポートを行い、障害に対応した適切な教育を実施します。

事業概要

《事業主体》　島原市

《事業概要》　配置人数　１４名（全小・中学校）
勤　　務　週５日　年間１７５日
勤務時間　１日５時間
活動内容　①基本的生活習慣確立のための日常生活の介助
②発達障害の児童生徒に対する学習支援
③学習活動、教室間移動等における介助
④児童生徒の健康・安全確保関係
⑤運動会（体育大会）、学習発表会、校外活動等の学校行事における介助
⑥周囲の児童生徒障害理解促進
⑦支援方法等の打ち合わせ
⑧その他校長が指示する事項

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	８，７０４千円　(8,704)		—
年度別事業内容	前年度	２６年度	次年度以降
	一中に新しく配置 ⇒全小・中学校に配置	上記事業を実施	引き続き実施予定

学校教育課

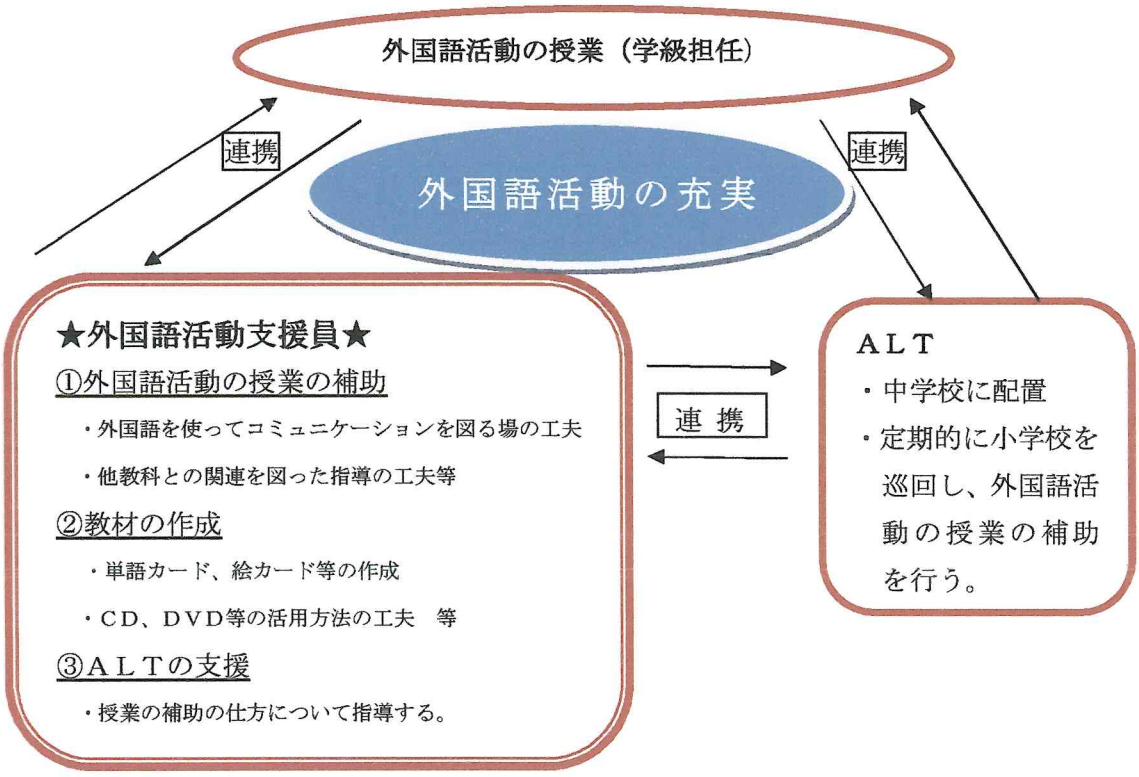
外国語活動支援員事業

事業目的

市内小学校を定期的に巡回し、外国語活動の授業の補助、教材の作成、ALT（外国語指導助手）の支援を行うことにより、外国語活動の授業を充実させるとともに、加えて、言語や文化についての理解を深め、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができる児童を育成します。

事業概要

《事業主体》　島原市
《事業概要》　配置人数　１名
勤　　務　週５日　年間２００日
勤務時間　１日６時間



事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	１，０６２千円　(1,062)		―
年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	２４年度から事業開始（１名配置）	上記事業を実施	引き続き実施予定

学校教育課

幼児ことばの教室設置事業

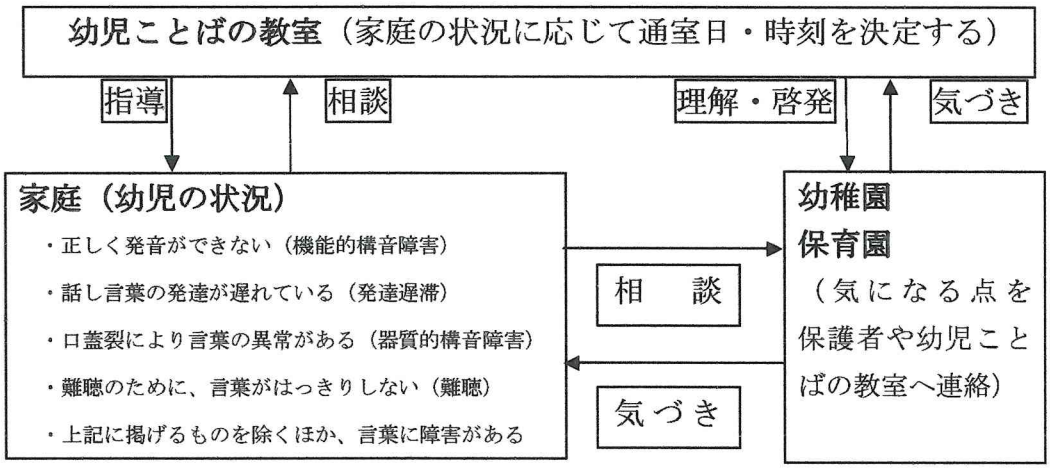
事業目的

言葉に障害のある幼児に関する指導及び相談を行うことにより、障害の改善及び克服を図るとともに、心身の健やかな成長を目指します。

事業概要

《事業主体》　島原市

《事業概要》　設置場所　島原市萩が丘二丁目５６８８番地（第二小学校内）
開設日時　週４日（火曜～金曜）
勤務時間　１日４時間
活動内容　相談員１名配置し、下図のような連携を図りながら指導・相談を行います。



事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	８８４千円　(884)		―
年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	相談員１名配置	上記事業を実施	引き続き実施予定

学校教育課

心の教室相談員配置事業

事業目的

中学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者を生徒の身近に配置し、生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供するため、全中学校に「心の教室相談員」を配置し、生徒や保護者の悩みや不安を聞くなどの相談活動を実施します。

事業概要

《事業主体》　島原市

《事業概要》　配置人数　５名（全中学校に各１名）
勤務時間　３校　週４日　１日５時間
２校　週３日　１日４時間
活動内容　①生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行う。
また、生徒のみならず、保護者との関わりを含めた相談活動の実践に努める。
不登校ぎみの生徒については、特に電話等を活用した家庭との連携を密にした相談活動を目指す。
②地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行う。
③その他、学校の教育活動の支援を行う。

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	３，２１６千円　(3,216)		―
年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	市内全中学校に配置	上記事業を実施	引き続き実施予定

学校教育課

教育費
277,281,283,313,321ページ

小中学校就学援助事業

事業目的

小学校及び中学校に在学する児童生徒の学用品費や給食費などについて、経済的な理由により困られている家庭に対し、就学援助の制度により支援することで、健康で学びに専念できる環境（学校、家庭）を充実させ、将来を担うこども達の健全な「人づくり」を目指します。

援助を受けられる費用

1　学用品・通学用品費（全　員）
2　新入学用品費（新１年生のみ）
3　社会科見学活動費（参加する場合）
4　校外活動費（参加する場合）
5　修学旅行費（参加する場合）
6　学校給食費（全　員）
7　通　学　費（公共交通機関を利用する場合）
8　医　療　費
（学校から治療を指示されて、
トラコーマ、結膜炎、白せん、かいせん、
膿痂疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎、アデノイド、
う歯、寄生虫病の治療をする場合）

認定者数及び認定率の推移

	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度（見込み）
認定者数（年度末）	６４４　人	６３５　人	６１５　人	５９８　人
認定率（年度末）	１５．４％	１５．８％	１５．７％	１５．５％

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）	全体事業費
	４８，２３５千円　(48,160)	―

年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

教育総務課

〔新規〕第三小学校浄化槽取替事業

事業目的

第三小学校の合併浄化槽（昭和６３年７月設置）は、既設の１００人槽を１基設置していますが、平成２５年７月の浄化槽法定検査で沈殿分離室（槽）から漏水が発見され、応急的な修理を実施しました。

漏水の原因は、既設合併浄化槽が、学校排水と給食排水を同一の浄化槽で処理していることにあり、応急的な修理では強度のバランスが保てないため、再度破損する可能性がある状況にあります。根本的な解決を図るため、既設浄化槽を撤去し、学校排水、給食排水用の浄化槽をそれぞれ新設します。

事業概要

《工事内容》
- 既設浄化槽の撤去
- 浄化槽２基を新設
  （学校排水用の合併処理浄化槽（７０人槽１基）
  給食排水処理用の排水処理槽（処理能力：２１㎥／日１基））

《イメージ図》



（既設浄化槽イメージ）　（新設浄化槽イメージ）　（完成断面簡単図）

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	５１，５００千円　（13,989）		５１，５００千円
年度別事業内容	前年度	２６年度	次年度以降
	―	上記事業を実施	―

教育総務課

〔新規〕第五小学校鉄骨校舎改修事業

事業目的

第五小学校西側奥の第三棟の普賢岳災害時の災害資料等の展示室がある建物をより有効活用し、広く市民等に開放するため、全面改修工事を実施します。

この建物の躯体部分の耐震化は、平成２４年度に完了していますが、校舎内部及び外部は、昭和３７年建設当時のままであるため、壁や木窓等の老朽化が激しい状態にあります。貴重な災害資料等を後世まで残すため、保存環境の整備を行い、全国からの来客が見込まれる国体の開催までに実施します。

事業概要

《建築物状況》

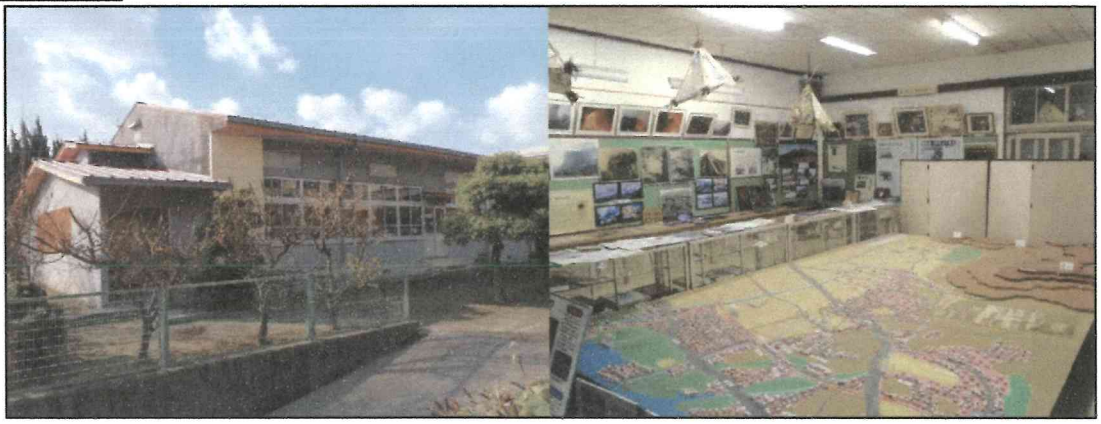
昭和３７年建設、鉄骨校舎平屋建、床面積４１８㎡（躯体部分の耐震化済）

《工事内容》

校舎全面改修及び間取りの変更（災害資料室の移設）

（内部改修【床二重張り、内壁塗装、アルミサッシ新設、天井改修　他】
外部改修【外壁モルタル補修、塗装（弾性複層仕上げ）】）

現状



【外　観】　　【災害資料等展示室】

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	２０，０００千円　（7,250）		２０，０００千円
年度別事業内容	前年度	２６年度	次年度以降
	―	上記事業を実施	―

教育総務課

〔新規〕三会小学校プール改修事業

事業目的

三会小学校の大・小プールは、老朽化のため塗装が何箇所にもわたって鋭利に剥げている状況です。児童が安全で快適に泳げるように、シート防水による改修工事を実施します。

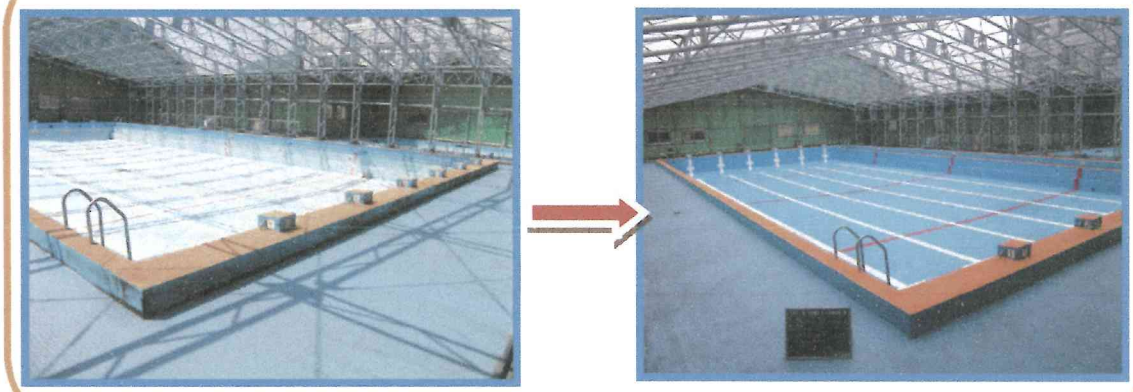
事業概要

《工事内容》
- 大プール及び小プールの既存塗装撤去
- シート防水の施工

シート防水の特徴

シート防水は、塗装防水よりも導入費用はかかりますが、維持管理費用、耐用年数を考慮した総合的な費用では、塗装防水よりも安価です。また、塗装が鋭利に剥がれる心配がないため、安全性も塗装防水より優れています。

【参考：第一小学校（平成24年度実施）】



【完成前】　　【完成後】

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	１２，０００千円　（4,350）		１２，０００千円
年度別事業内容	前年度	２６年度	次年度以降
	－	上記事業を実施	－

教育総務課

〔新規〕第一中学校体育館屋外便所建替事業

事業目的

既設の体育館屋外便所は昭和５０年９月に建設、木造平屋建、床面積は２０㎡です。現在、老朽化とシロアリによる支柱の食害が進み、いつ倒壊してもおかしくないほど危険なため、使用禁止の状態にあります。

そのため、生徒をはじめ、体育館利用者は、校舎の便所を利用しており、大変不便な状況です。第一中学校は、一般の体育館利用者も多いため、体育館屋外便所建替えを実施します。

事業概要

《工事内容》　○既設屋外便所解体
○新設
（木造平屋建約２０㎡　男：小便器３・大便器１　女：大便器３）

【外　観】　　【シロアリ被害】



事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）	全体事業費
	５，０００千円　(5,000)	５，０００千円

年度別事業内容	前年度	２６年度	次年度以降
	―	上記事業を実施	―

教育総務課

非構造部材耐震化事業（体育館）

事業目的

小中学校施設は、多くの児童生徒等が一日の大半を過ごす学習、生活等の場であるとともに、災害時には防災拠点の役割を果たすため、安全を確保する必要があります。

平成２４年度には、市内学校施設の耐震補強工事が完了しており、平成２５年度からは、屋内運動場の天井部材（天井・ライト等）の落下防止対策等をはじめとした非構造部材の耐震対策に取り組んでおり、平成２７年度に市内全小中学校の屋内運動場の非構造部材耐震化工事が完了する予定です。

事業概要

《事業期間》　平成２５～２７年度
《工事内容》　屋内運動場の非構造部材耐震化
・天井ネットの設置（照明補強含む）
・内壁改修（設備補強含む）　・窓改修　・外壁
・その他（屋根塗装等）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
工程	非構造物耐震化の「設計」 小学校　４校 中学校　３校 ⇨	非構造物耐震化「工事」 小学校　４校 中学校　３校	
		非構造物耐震化の「設計」 小学校　５校 中学校　２校 ⇨	非構造物耐震化の「工事」 小学校　５校 中学校　２校

天井ネットの設置（照明補強含む）概要

木毛板落下防止ネットの取付



照明器具落下防止



事業費	26 年度予算額　（うち、一般財源）	全体事業費
	８，１８８千円　(488) 前年度繰越：633,645 千円（H25 国補正予算対応）	１，０４２，０００千円

年度別事業内容	前年度	２６年度	次年度以降
	上記事業計画に同じ	上記事業計画に同じ	上記事業計画に同じ

教育総務課

〔新規〕スクールキッズ事業

事業目的

市内各小学校では、夏休みの第一週目に補習を目的としたサマースクールを実施しており、学校教育以外においても、児童に『自習の習慣』を身につけさせ、あわせて学力向上を目指す、スクールキッズ事業を行います。

事　業	時　期	目　的	事業主体
サマースクール	夏休み１週目	補　習	学　校
スクールキッズ	夏休み２週目	自　習	社会教育課・地域

事業概要

日　時　　平成 26 年 7 月 28 日（月）～8 月 1 日（金）5 日間

場　所　　公民館 2 か所（各館 2 部屋使用）

講　師　　各館３名ずつを公募（教員免許保持者から２名、一般から１名）

※募集方法：広報しまばら、市ホームページ、退職校長会へ周知

時間割

８：５０～　９：０５音読（国語）

９：０５～　９：５０自習①

９：５０～１０：００休み時間

１０：００～１０：１５百マス計算（算数）

１０：１５～１１：００自習②

部屋割　　２部屋

（・1 部屋は静かに自習する部屋：　一　般　・・1 名
・1 部屋は質問をする部屋　　：教員免許保持者・・2 名）

事業費	26 年度予算額　　（うち、一般財源）		全体事業費
	１３４千円　（46 千円）		―
年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	―	公民館２か所でスクールキッズを実施	公民館４か所でスクールキッズを実施予定

社会教育課

〔新規〕島原市子ども読書活動推進計画改定事業

事業目的

平成１７年度に『島原市子ども読書活動推進計画」が策定されて間もなく１０年が経過します。この１０年間で、学校司書の全校配置など本市の子ども読書活動の状況は変化し、また、平成２６年度からは『第三次長崎県子ども読書活動推進計画』が開始されます。

このような状況を踏まえ、さらなる子ども読書活動推進のため、平成２６年度中に本市計画の改定作業を行い、平成２７年４月から『第二次島原市子ども読書活動推進計画』を開始します。

事業概要

勉強会の開催
- 第三次長崎県子ども読書活動推進計画について県担当者を講師に勉強会を実施。
- 本市委員だけではなく、図書ボランティア等も参加対象とすることで、子ども読書活動関係者の研修の機会を兼ねる。

島原市子ども読書活動推進会議の開催
- 委員１２名（うち８名が報酬支払対象。）
- 年４回の会議を開催し、本市計画の改定作業を実施

第二次計画の決定
- ２００部作成し、学校、幼稚園、保育園、関係者等に配布。
- 市ホームページ上でも公開し、周知を図る。

平成２７年４月　**『第二次島原市子ども読書活動推進計画』の開始**

事業費	26 年度予算額　（うち、一般財源）	全体事業費
	３００千円　(300)	３００千円

年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	―	第二次島原市子ども読書活動推進計画の「策　定」	第二次島原市子ども読書活動推進事業の「開　始」

社会教育課

〔新規〕防災教育事業

事業目的

東日本大震災以降、防災教育の重要性が改めて認識され、想定にとらわれない、自らの判断で行動できる防災教育への見直しが求められています。

本市でも、４４名の生命を奪った平成３年の普賢岳噴火災害を忘れることがないよう、６月３日の「いのりの日」に各小・中学校では、「いのりの日集会」を開き、命の尊さや復興へ向けた人々のきずな、支援に対する感謝の心を忘れることがないようにしています。さらに防災に関する知識や意識を高めるために、全小・中学校で『非常食体験』を実施し、今後も継続する予定です。

事業概要

非常食体験の実施

- 日　　時　　６月３日（いのりの日）　給食の時間
- 対　　象　　全小・中学校　児童、生徒、教職員（非常勤職員も含む）
- 想　　定　　災害発生のための交通遮断による給食配給の停止
- 非常食内容　　乾パン、災害救助米、氷砂糖、ふりかけ、水

非常食体験の様子



防災に関する知識や意識を高めるため、全小・中学校で『非常食体験』を実施

事業費	26年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	１，５９０千円　(1,590)		―
年度別事業内容	２５年度	２６年度	次年度以降
	県の防災教育モデル事業（6月補正予算）の一部として実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

学校教育課

〔新規〕夢の教室公演事業

事業目的

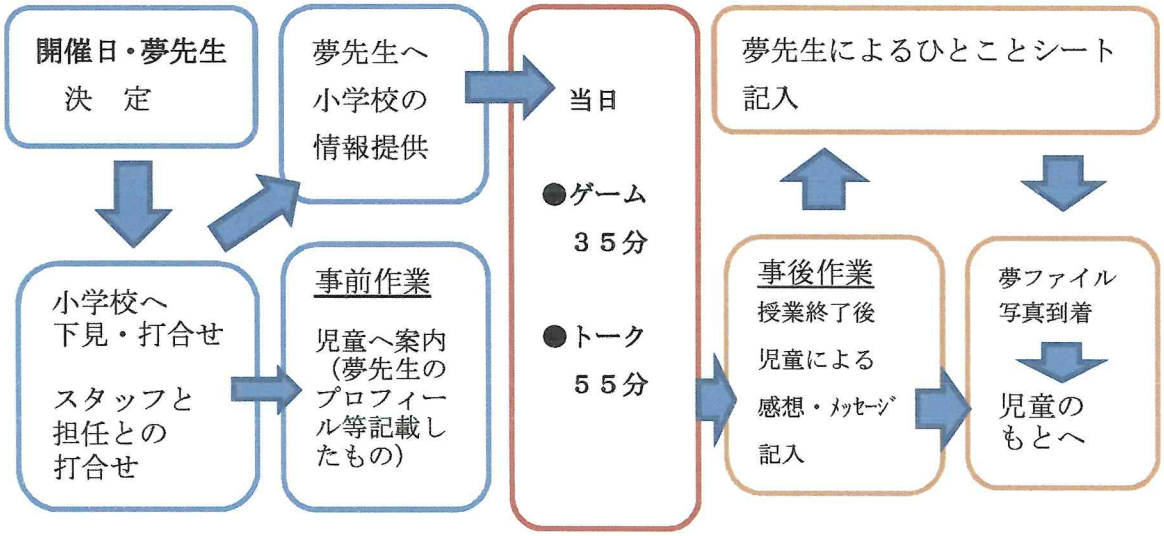
スポーツ選手とそのＯＢ・ＯＧ（サッカー、バレー、バスケット等）が夢を持つことの素晴らしさや、夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語りあう「夢の教室」を開催することで、こどもの情操教育の充実を図ります。

事業概要

《事業主体》　島原市
※日本サッカー協会の事業を活用

「夢があるから強くなる」をスローガンに子どもの心の教育を行う。

事業の流れ



事業費	２６年度予算額　（うち、一般財源）		全体事業費
	１，１９１千円　（1,191）		―
年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	―	上記事業を実施	―

スポーツ課

教育費 315-317ページ

島原市民体育祭

事業目的

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため本大会を開催します。

事業概要

《事業主体》　島原市・島原市教育委員会・島原市体育協会

《事業期間》　○大運動会　　平成２６年１０月５日（日）

○各種競技会　８月から９月までの期間を設けて開催。

《事業内容》　**①大運動会**

・各地区交付金（７地区×１５０千円＝１，０５０千円）

・交通指導員、ブラスバンド謝礼等

・選手団、楽器等輸送費等

・その他消耗品等

②各種競技会（平成２５年度は２２競技を開催）

島　原　市　民　体　育　祭　の　様　子





事業費	２６年度予算額　　（うち、一般財源）	全体事業費
	３，０００千円　　(3,000)	―

年度別事業内容	前年度まで	２６年度	次年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

スポーツ課